

◎6月3日(日)～4日(月)開催  
 第3028回例会/ヒヨコ夏山 単独例会  
 ミヤマヨメナ咲き乱れる広島県境の山  
 「牛曳山から伊良谷山～毛無山 と

ひろしま県民の森の宿泊を楽しむ」

布引支部 庄司百合子

写真挿入 吉野 宏

今年の夏山のテーマは、昨年に引き続き「ゆっくり、ゆったり楽しむ登山!」でした。  
 一昨年思わぬアクシデントが有り、毎朝登山を含めた山歩きを諦めなければならない羽目になって、長期間憂鬱(ゆううつ)な日々を過ごしました。しかし、何時までも御身を庇ってばかりはいられません! 布引乙女隊の皆さんから、昨年の楽しかった夏山物語?を聞かされていたので、今年は自分に合った山なら是非参加しよう!と、早くから心に決めていました。



11 ページ綴られた 2018/ヒヨコ夏山資料

行き先は広島県と島根県の県境に位置した山々。北アルプスを含めた信州の山々とは趣が異なり、派手さは無いけれど緑におおわれたなだらかな山で、歩きやすく、しかもこの季節に絶対お勧め!となのは、ミヤマヨメナ(深山嫁菜・キク科・ミヤコワスレの原種)が登山道に咲き乱れている!とのことでした。

6月3日(日)/1日目

新神戸駅1階7時50分集合、8時出発。驚いたのは参加者27名の内訳が、男性4名、女性23名のまさにヒヨコギャル?遠征隊であったことです!(高齢化で男性はお疲れ・・・?)

渡田さんの司会で吉野会長よりご挨拶並びに2日間の行程説明などが有りました。その中で気になる言葉に、「楽な歩きやすい山ですが、又だまされた!・・・と言わないで下さいね!」・・・ん?・・・どうということ?・・・(会長はだましてばかりいるの!!)・・・少し心配・・・です!

中国縦貫道は西へ走るほど車が少なく、勝央と大佐という二つのサービスエリアで休憩しただけで目的の「ひろしま県民の森センター」に着きました。(12:30)



牛曳山登山口(東口)からスタートです!

昼食のお弁当はセンターのロビーや憩いの広場などで早めに済ませ、バスで登山口まで送って頂きました。(13:15)

軽い準備体操で身体をほぐした後、出発。歩き出してすぐの場所にマイツルソウの群生場所があったのですが、すでに花は終わっており、



ノアザミ



この花何という名?



ミヤマヨメナ

残念でしたが、個性ある形をした葉が印象に残りました。薄ピンクの花をいっぱい付けたタニウツギや鮮やかな薄紫のノアザミ、真っ白な花をいっぱい付けたヤマボウシなどを見ながら歩いてくと・・・出てきました！ミヤマヨメナが



白樺の森をゆっくりと登るヒヨコ隊

登山道の右や左に！・・・写真を写すのにしゃがんでばかりいると、周りの白樺林の美しさに気が付かない所でした。しばらくジグザグの歩きやすい登山道を登って行くと、谷筋に沿った道幅の狭い登山道となり、勾配も少しキツくなってきました。やっぱり会長に騙された？と思いながら小滝の上をクリアーするとすぐ緩やかな



沢のせせらぎや鳥のさえずりに癒されながら・・・

山道となり、その辺りから又、ミヤマヨメナが顔を出し始めました。それから山頂の手前までの登山道はこの花に埋め尽くされた、まさにバージンロードと言っても過言ではない、白く清楚な花のオンパレードでした！！下山してこら

れた別のグループのお一人が、「今年は半端な咲き方じゃないですよ！」と言った通り、感激、又感激の連続でした。花のバージンロードを、ジジババロード？・・・と言ったのはだ～れ？



昔の乙女隊は何を想って見つめているのでしょうか？



幾つになっても乙女隊？・・・です！



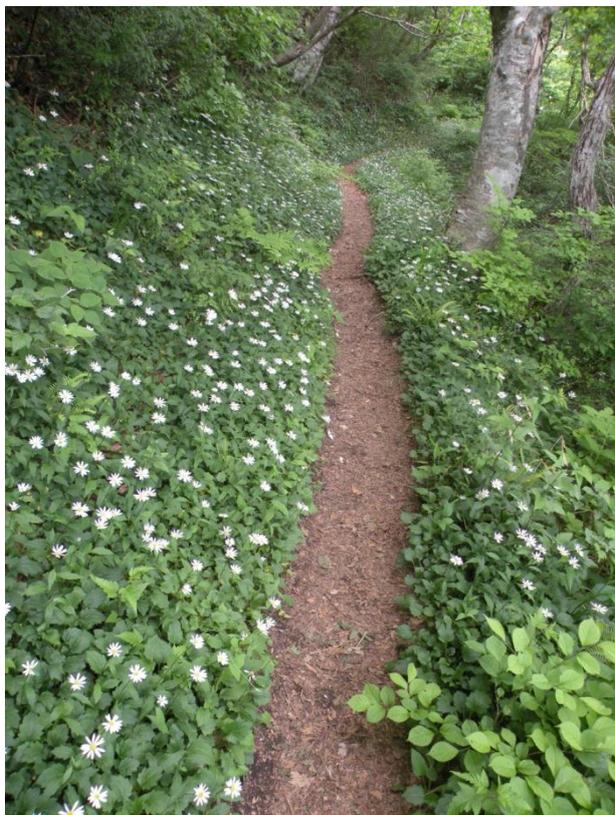
一つの花がこんなにたくさん、しかも、こんなに長い距離の間を咲き乱れているお山はおそらく他に無いのでは？と思いながら歩きました。



撮影、又撮影のミヤマヨメナ嬢？



ササユリの蕾も有りました！



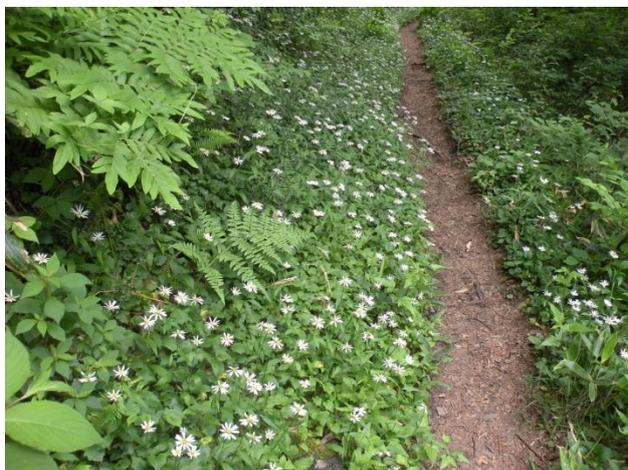
ミヤマヨメナのバーজনロード



牛曳山山頂にて/布引支部のヨメナ嬢



同/高取・保久良支部のササユリ嬢



同/旗振支部のミツコワスレ？隊

センターホテル前に帰って来たのが 16 時 10 分。今日は 3 時間足らずのハイキングでしたが、大満足の半日でした！  
お風呂で汗を流し、夕食会場へは 18 時 30 分。



豪華なディナーに満足顔の女子レスリング部？



広島牛や日本海の鮮魚、そして新鮮なフルーツやワインの超豪華な食事に、又々大満足！明日帰るのがイヤーになった 1 日目でした。

6 月 4 日 (月) / 2 日目

少し心配していた空模様は予想に反し爽やかな五月晴れ！早起きは皆さんお手のものなので、早朝散歩へと繰り出しました。センターホテル



広島県史跡・六の原製鉄場跡とある金屋子神社

の北側は本日登る毛無山～伊良谷山が連なっており、裾は広大な草の広場。近くにお社らしきものが見えたので行ってみると、「広島県史跡・六の原製鉄場跡」とあり、金屋子神社と有りました。古来より製鉄が盛んなところらしく、元になる砂鉄が多く採取されて場所らしいようです。散歩から帰る途中、あ～大変！靴底がパクパクでした！・・・臨時の靴屋さんに早変わりした会長のお陰で、赤と黒のブルースならぬ赤と黒のカラフルシューズに変身し、無事下山まで歩きました！（感謝！感謝！でした。）

ハイキング形式の朝食に舌つつみを打ち県民の森と彫られた大岩の前で出発前の記念写真。



よく食べ、よく眠り・・・いざ出発！



毛無山 (1143.7M) 山頂にて (9:45)



毛無山までの登山道は広く緩やかで大変歩きやすく、緑の木々の中を楽しく歩くことが出来ました。毛無山からは遠くに大山が見え、県境の山らしい雰囲気でした。毛無山から伊良谷山へは少し下って登り返し、11時に1,148メートルの山頂に着きました。計画通り、3山すべての山頂に立つことが出来ましたよ！！



伊良谷山山頂でばんざ〜い！/高取支部の皆さん



同/旗振支部の皆さん



同/保久良支部の皆さんと布引・潮崎さん



布引レスリング隊と一王山・中岡キリマンジャロ嬢



また来てね！とささやいてくれたササユリ

11時35分に下山完了。予定より早く次の目的地である「かんぽの郷・庄原」へバス移動。広くてきれいな浴槽や、新式ジェットバスなどで疲れを癒し、レストランでは丁度良い量の昼食をいただきました・・・

お昼に飲んだビールの心地よさで、バス内ではウトウトだったと思います・・・

思わぬアクシデントから二年ぶりの山歩き。皆様と大変楽しい時を過ごさせて頂き、とても満足！です。会長始め皆様に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。因みに2日間の歩行距離は22キロだったそうです。(三宮ではカラフル靴、流石にはずかしかったよ〜！)



天候 晴れ

担当 例会・自然保護合同委員会

参加者 27名(男性4名・女性23名)